

ヘンリー8世と6人の王妃たち

120930

| | | | | | | |
|--------|----|------|--|---|-------------------------------|--|
| ヘンリー8世 | 0 | 1491 | ヘンリー8世は、チューダー朝を開いたヘンリー7世の4人の子の次男として出生。キャサリン・オブ・アラゴンと結婚していた兄が1501年に急死した。父王が1509年に死去したのに伴いヘンリー8世として18歳で即位した。 | | | |
| | 年齢 | 西暦 | 結婚相手 | 結婚前 | 子供 | 離婚原因等 |
| | 18 | 1509 | 22歳の キャサリン・オブ・アラゴン (1487年～1536年) | ヘンリー8世の兄嫁であったが、兄の死後も持参金の関係でイギリスに居住した | 6回の流産・死産であったが、メアリー1世(②)だけ無事出産 | <ul style="list-style-type: none"> ・カスティリヤ女王イサベル1世とアラゴン王フェルナンド2世の末子で、知的で上品な女性であった。 ・跡継ぎの男子が生まれず、アン・ブーリンが離婚を求めたため国教を変えてまで強引に離婚された。 ・24年間の結婚生活であった。離婚後、幽閉され、娘に看取られることもなかった。 ・ゴルフ史上最初の女性プレーヤーで、1513年には、ゴルフを楽しんでいた模様。 |
| | 42 | 1533 | 26歳の アン・ブーリン (1507年～1536年) | キャサリン・オブ・アラゴンの女官であった。なお、姉のメアリーは王の愛人であった | エリザベス1世(③)を出産したが、二回流産した | <ul style="list-style-type: none"> ・教養にあふれ活発で、恋の駆け引きも上手で、ヘンリーから男子出産の期待が大であった。 ・しかし、男子出生かなわず、姦通罪という容疑でロンドン塔で斬首刑となった。 ・すでに、次の王妃であるジェーン・シーモアに対して、後継者への期待が移っていたようである。 |
| | 45 | 1536 | 27歳の ジェーン・シーモア (1509年～1537年) | キャサリンとアンの女官で、アンと対照的に控えめな性格であった | 国王待望の男子・エドワード6世(①)を出産 | <ul style="list-style-type: none"> ・アン・ブーリン処刑10日後に結婚したが、出産後の肥立ちが悪く急死。 ・二人は円満であったようで、ジェーンだけウインザー城のヘンリー8世の墓地に埋葬されている。 ・アン・ブーリンと同様に、その兄弟達がより権力に近づくために送り込まれた面も強いようである。 |
| | 49 | 1540 | 25歳の アン・オブ・クレープズ (1515年～1557年) | ドイツのクレープス公ヨハン3世の娘で、プロテスタントである | なし | <ul style="list-style-type: none"> ・トマス・クロムウェルが宮廷画家に書かせた肖像画と実物が異なっていたため1年も持たなかった。 ・ヘンリー8世は、後継者誕生後なので再婚への焦りもなく、政治重視の政略結婚であった。 ・離婚後も、彼女は国王の義妹としてイギリスに残り、皇室の一員として穏やかな生活を過ごした。 |
| | 51 | 1542 | 19歳の キャサリン・ハワード (1521年～1542年) | アン・ブーリンの従妹 | なし | <ul style="list-style-type: none"> ・30歳の年齢差が原因なのかキャサリンの浮気が多く、ロンドン塔で斬首刑。 ・情操教育を受け足りない単に飛んでる若い女の子のようで、なぜ結婚までしたのか、は不明。 |
| | 52 | 1543 | 31歳の キャサリン・パー (1512年～1548年) | 2回結婚したが共に死別。才女で教養も高く王妃に推された | なし | <ul style="list-style-type: none"> ・義理の子であるメアリ・エドワード・エリザベスの教育もし、アン・オブ・クレープズにも心配りする女性。 ・ヘンリー8世は、晩年は彼女に頼っていたようであるが、梅毒により死別。 ・かつての恋人トマス・シーモアと再婚。妊娠中トマスが、エリザベス1世の寝室を出入りしたため、エリザベスを追い出した。しかし、出産の2週間後死去。 |
| | 56 | 1547 | エリザベス・ブラントは 愛人であり結婚していない | | ヘンリー・フィッツロイを出 | 1525年に認知された私生児であるが、リッチモンド公の称号が授与された。 |

(参考)ヘンリー8世以降の国王

| 国王 | 年齢 | 西暦 | 在位期間等 | 両親 | 主な出来事 |
|------------|----|------|--|--|---|
| エドワード6世(①) | 10 | 1547 | 同年、国王となったが幼く、伯父にあたるエドワード・シーモアが実権を握った | 1537年、ヘンリー8世(46歳)とジェーン・シーモア(28歳)の子として出生。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1552年にシーモアが反逆罪で処刑されると、ジョン・ダドリーが権力を握った。 ・ダドリーは権力保持のために画策したが、結局反逆罪で処刑。 ・そして、メアリー1世が女王の座に着いた。 |
| | 16 | | もともと病弱であり在位6年で死去した。 | | |
| メアリー1世(②) | 37 | 1553 | 同年、国王となったが、熱心なカトリック教徒でプロテスタントを徹底的に迫害したことから、「ブラディ・マリー」ともいわれる。 | 1516年、ヘンリー8世(25歳)とキャサリン・オブ・アラゴン(29歳)の娘として出生。ヘンリー8世は、跡継ぎの可能性もあったので寵愛した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン王家の血を引いていたこともあり、カトリック勢力強化のために、1554年(38歳)、スペイン王フェリペ2世(1527年～1598年)と政略結婚した。 ・イギリス国教会からローマ・カトリックに戻そうとした。 |
| | 42 | | 11歳の年上女房で遠距離生活であったが、悪性の婦人病により死去。在位5年であった。 | | |
| エリザベス1世(③) | 25 | | 同年、王位継承権に基づき国王となった。 | 1533年、ヘンリー8世(42歳)とアン・ブーリン(26歳)の娘として出生。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1563年、穏便にイギリスの国教会の体制に戻した。 ・1586年、スコットランド女王メアリーを斬首刑とした。 ・1588年、アルマダの海戦でスペイン無敵艦隊に勝利。 ・1592年、シェークスピア(1564年～1616年)がロンドンデビュー |
| | 70 | 1603 | 独身のまま老衰のように死去した、在位45年であった。 | | |